

2007年9月（第82回）景気定点観測アンケート調査結果

調査期間：2007年8月23日～8月31日

調査対象：2007年度(社)経済同友会幹事、経済情勢・政策委員会委員、その他委員会登録の
経営トップマネジメント(526名)および各地経済同友会代表幹事(81名)

計607名

集計回答数：231名(回答率=38.1%)(製造業79名、非製造業152名)

[(社)経済同友会会員173名、各地経済同友会代表幹事58名]

* 本調査は年4回(3月、6月、9月、12月)実施

【調査結果の概要】

・景気判断

(1)景気の現状について

景気は「拡大している」「緩やかに拡大している」との回答が引き続き最も多いものの、「横ばい」との回答が業種・地域を問わず増加した。

(2)今後の見通しについて

07年度後半も引き続き、景気は「緩やかに拡大する」との見方が多いものの、横ばいとの回答が目立って増加した。「拡大している」「緩やかに拡大している」の合計は59.0ポイントであり、これは2005年3月調査(41.5ポイント)以来の低水準。各地代表幹事の回答では「横ばい」が「緩やかに拡大する」を上回った。回答の理由としては、個人消費の低迷や輸出の減速を挙げる回答が増加した。

(3)金融指標の先行きについて

07年末の為替レートの見通しについては、円ドルレートで前回調査(9月末の見通し)比5円程度円高となった。株価の見通しについては、日経平均で1000円程度低下したほか、ばらつきが拡大した。

・企業業績、設備投資等

非製造業の経常利益において、7 - 9月期に続き10 - 12月期も「横ばい」が「増益」を上回ったのを除き、全体としては増収・増益回答が引き続き最多となった。07年度の設備投資については、前回調査に比べ、非製造業で06年度に比べ減額との回答もやや増えたが、業種を問わず増額回答が増加した。

・トピックス

1. 経済見通しについて

(1)景気腰折れのリスク要因

「米国経済」を挙げる回答が77.9%と最も多く、「為替レート」(34.6%)、「エネルギー、資源価格の上昇」(26.8%)が続いた。

(2)米・実質GDP成長率の見通し

07年、08年とも、「2%以上2.5%未満」との回答が最も多かった。また、回答を加重平均すると、07年が2.1%、08年が2.2%となった。

(3)日本・実質GDP成長率の見通し

07年、08年とも、平均値・中央値のいずれも2.0%で、前回調査の結果とほぼ変わらなかった。

(4)日本銀行の利上げ時期について

回答は非常にばらついたが、年内との回答があわせて7割にのぼった。

2. 第21回参議院議員選挙結果を受けて

選挙結果が日本経済に与える影響については、「成長を鈍化させる」「どちらかといえば鈍化させる」があわせて52.4%と過半数を占めた。続いて「影響はない」の42.2%となった。

政治が今後優先的に取り組むべき課題としては、「歳出削減の徹底」を1位に挙げる声が多く、「医療・介護・年金制度の一体的見直し」を挙げる声が続いた。順位を考慮してスコアリングすると、1位が「医療・介護・年金制度の一体的見直し」、2位が「歳出削減の徹底」となった。

日本経済

1. 景気の現状について

現在の我が国の景気動向をどのように判断されますか。

図表1

全体(回答数231人)(社)経済同友会(173人)各地代表幹事(58人)

調査時点	全体					(回答比%)	
	2006/9	2006/12	2007/3	2007/6	2007/9	(社)経済同友会	各地代表幹事
拡大している	7.3	3.0	1.4	1.8	0.4	0.6	0.0
緩やかに拡大している	82.8	80.2	84.9	80.8	75.3	77.5	69.0
横ばい状態が続いている	9.2	16.9	12.7	15.6	22.9	20.8	29.3
緩やかに後退している	0.8	0.0	0.9	1.3	1.3	1.2	1.7
後退している	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表2

製造業

(回答数79人)

(回答比%)

	2006/3	2006/6	2006/9	2006/12	2007/3	2007/6	2007/9
拡大	97.9	93.5	89.9	84.9	87.5	86.1	78.5
横ばい状態	2.1	6.5	10.1	15.1	12.5	13.9	19.0
後退	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5

非製造業

(回答数152人)

(回答比%)

	2006/3	2006/6	2006/9	2006/12	2007/3	2007/6	2007/9
拡大	94.8	91.8	90.1	81.9	85.6	80.7	74.3
横ばい状態	4.5	7.5	8.6	18.1	12.9	16.6	25.0
後退	0.0	0.0	1.2	0.0	1.5	2.8	0.7

(社)経済同友会

(回答数173人)

(回答比%)

	2006/3	2006/6	2006/9	2006/12	2007/3	2007/6	2007/9
拡大	96.8	93.3	91.0	88.5	87.2	87.1	78.0
横ばい状態	3.2	6.7	8.5	11.5	11.5	12.9	20.8
後退	0.0	0.0	0.5	0.0	1.3	0.0	1.2

各地経済同友会代表幹事

(回答数58人)

(回答比%)

	2006/3	2006/6	2006/9	2006/12	2007/3	2007/6	2007/9
拡大	93.8	90.0	87.1	68.3	83.9	68.5	69.0
横ばい状態	4.7	8.3	11.3	31.7	16.1	24.1	29.3
後退	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	7.4	1.7

「拡大」は「拡大」、「緩やかに拡大」の合計。「後退」は「後退」、「緩やかに後退」の合計。

2. 2007年度後半(07年10月～08年3月)の景気見通しと主要な経済指標について

(1) 2007年度後半(07年10月～08年3月)の景気についてどのようにお考えですか。

図表3

全体(回答数229人)(社)経済同友会(171人)各地代表幹事(58人)

回 答	全体				(回答比%)	
	現状判断	07/3月時*	07/6月時*	今後の見通し	(社)経済同友会	各地代表幹事
拡大する	0.4	1.9	2.7	0.0	0.0	0.0
緩やかに拡大する	75.3	80.7	73.5	59.0	63.7	44.8
横ばい状態が続く	22.9	15.6	22.0	36.7	31.6	51.7
緩やかに後退する	1.3	0.9	1.8	3.9	4.1	3.4
後退する	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.9	0.0	0.4	0.6	0.0

注) P2の今回調査の景気判断の数値です。

*注) 07/3月時の回答は07年4月-07年9月、07/6月時の回答は07年7月-07年12月についての見通しです。

(2) そのように判断する根拠をお選び下さい(2つまで)。

図表4

全体(回答数229人)(社)経済同友会(171人)各地代表幹事(58人)

調査時点	全体				(回答比%)		
	2006/12	2007/3	2007/6	2007/9	(社)経済同友会	各地代表幹事	
設備投資	好調	49.1	52.9	30.6	38.4	42.7	25.9
	減速	7.0	2.4	9.5	5.2	4.7	6.9
企業収益	好調	51.3	64.4	52.3	37.6	39.8	31.0
	減速	3.5	2.9	3.2	10.5	9.9	12.1
個人消費	回復	26.5	23.1	45.0	20.1	21.1	17.2
	低迷	21.7	11.1	12.2	22.3	18.1	34.5
公共投資	増加	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	減少	5.2	2.9	6.3	7.0	4.1	15.5
住宅投資	回復	2.2	1.0	1.4	0.0	0.0	0.0
	低迷	0.9	0.5	0.9	1.7	0.6	5.2
輸 出	好調	12.2	21.2	23.4	21.0	21.1	20.7
	減速	3.5	1.4	3.2	17.9	18.1	17.2
輸 入	好調	1.3	0.5	0.0	0.4	0.6	0.0
その他		3.9	3.8	0.9	4.4	4.7	3.4

(3) 対ドル円相場: 2007年12月末値

< 参考 > 2007年8月22日1ドル = 114.86 - 88円

図表5

回答数230人 (回答比%)

	102.5円未満	102.5円以上 105円未満	105円以上 107.5円未満	107.5円以上 110円未満	110円以上 112.5円未満	112.5円以上 115円未満	115円以上 117.5円未満	117.5円以上 120円未満	120円以上 122.5円未満	122.5円以上 125円未満	125円以上 127.5円未満	127.5円以上
今回	0.4	0.0	0.4	2.2	8.7	27.4	40.9	18.3	1.3	0.4	0.0	0.0
前回	0.4			0.0	0.9	1.8	8.1	37.7	31.8	17.0	2.2	0.0

(4) 日経平均株価(東証・225種): 2007年12月末値

< 参考 > 2007年8月22日終値 15,901円

図表6

回答数230人 (回答比%)

	14,000円未満	14,000円台前半	14,000円台後半	15,000円台前半	15,000円台後半	16,000円台前半	16,000円台後半	17,000円台前半	17,000円台後半	18,000円台前半	18,000円台後半	19,000円以上
今回	0.0	0.4	0.9	3.0	3.9	16.1	20.9	24.8	18.3	8.3	2.6	0.9
前回	0.0					0.0	0.0	9.3	32.3	42.0	12.4	3.9

(5) 東証株価指数(TOPIX、東証一部・総合): 2007年12月末値

< 参考 > 2007年8月22日終値 1,545

図表7

回答数228人 (回答比%)

	1,400未満	1,400台前半	1,400台後半	1,500台前半	1,500台後半	1,600台前半	1,600台後半	1,700台前半	1,700台後半	1,800台前半	1,800台後半	1,900以上
今回	0.4	0.0	1.3	4.4	10.5	22.8	22.8	16.7	12.7	6.6	1.3	0.4
前回	0.0					0.0	0.4	18.2	32.9	35.6	9.3	3.5

・企業業績、設備投資等

1. 貴社の業績についてお伺いします。下表から該当する番号をお選び下さい。

図表8(1)

全体		増 収	横ばい	減 収	(回答比%)
<見込み>	【売上高】				
	2007年7-9月期見込み	53.5	35.2	11.3	
	前回予想	53.8	35.7	10.5	
	【経常利益】	増 益	横ばい	減 益	
<予想>	2007年7-9月期見込み	41.6	37.4	21.0	
	前回予想	41.4	38.1	20.5	
	【売上高】	増 収	横ばい	減 収	
	2007年10-12月期予想	55.6	35.5	8.9	
<見込み>	【経常利益】	増 益	横ばい	減 益	
	2007年10-12月期予想	45.3	39.2	15.6	

図表8(2)

製造業		増 収	横ばい	減 収	(回答比%)
<見込み>	【売上高】				
	2007年7-9月期見込み	68.9	25.7	5.4	
	前回予想	65.3	28.0	6.7	
	【経常利益】	増 益	横ばい	減 益	
<予想>	2007年7-9月期見込み	47.3	28.4	24.3	
	前回予想	45.3	34.7	20.0	
	【売上高】	増 収	横ばい	減 収	
	2007年10-12月期予想	67.6	28.4	4.1	
<見込み>	【経常利益】	増 益	横ばい	減 益	
	2007年10-12月期予想	52.7	31.1	16.2	

図表8(3)

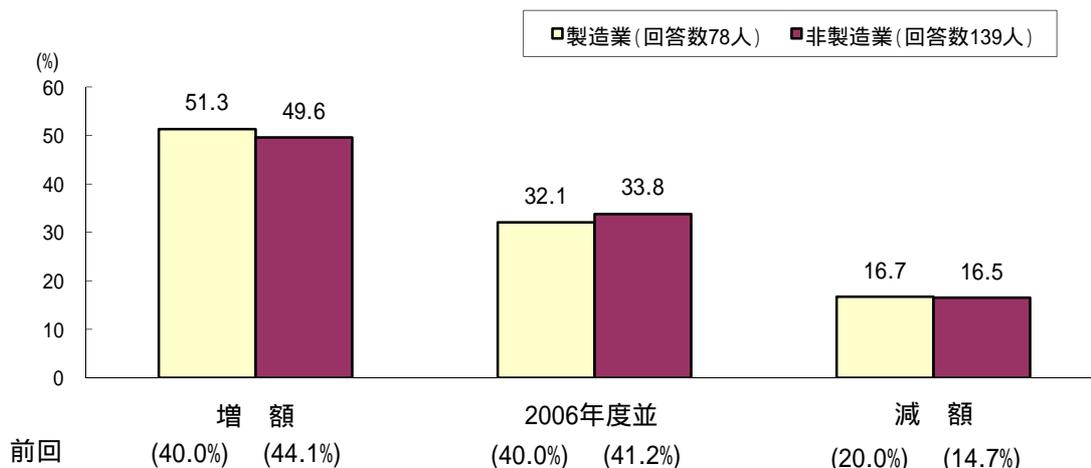
非製造業		増 収	横ばい	減 収	(回答比%)
<見込み>	【売上高】				
	2007年7-9月期見込み	45.3	40.3	14.4	
	前回予想	47.4	40.0	12.6	
	【経常利益】	増 益	横ばい	減 益	
<予想>	2007年7-9月期見込み	38.6	42.1	19.3	
	前回予想	39.3	40.0	20.7	
	【売上高】	増 収	横ばい	減 収	
	2007年10-12月期予想	49.3	39.3	11.4	
<見込み>	【経常利益】	増 益	横ばい	減 益	
	2007年10-12月期予想	41.3	43.5	15.2	

(注)いずれも前年同期比

2. 貴社の設備投資(2007年度)についてお伺いします。

(1) 国内の設備投資額(2007年度)は2006年度比でどのようになる予定でしょうか。

図表9



(2) 「(1)」で「増額」および「横ばい」をお選び頂いた方に伺います。
増額の主な項目をお選び下さい。(複数回答可)

または

「(1)」で「横ばい」および「減額」をお選び頂いた方に伺います。
減額の主な項目をお選び下さい。(複数回答可)

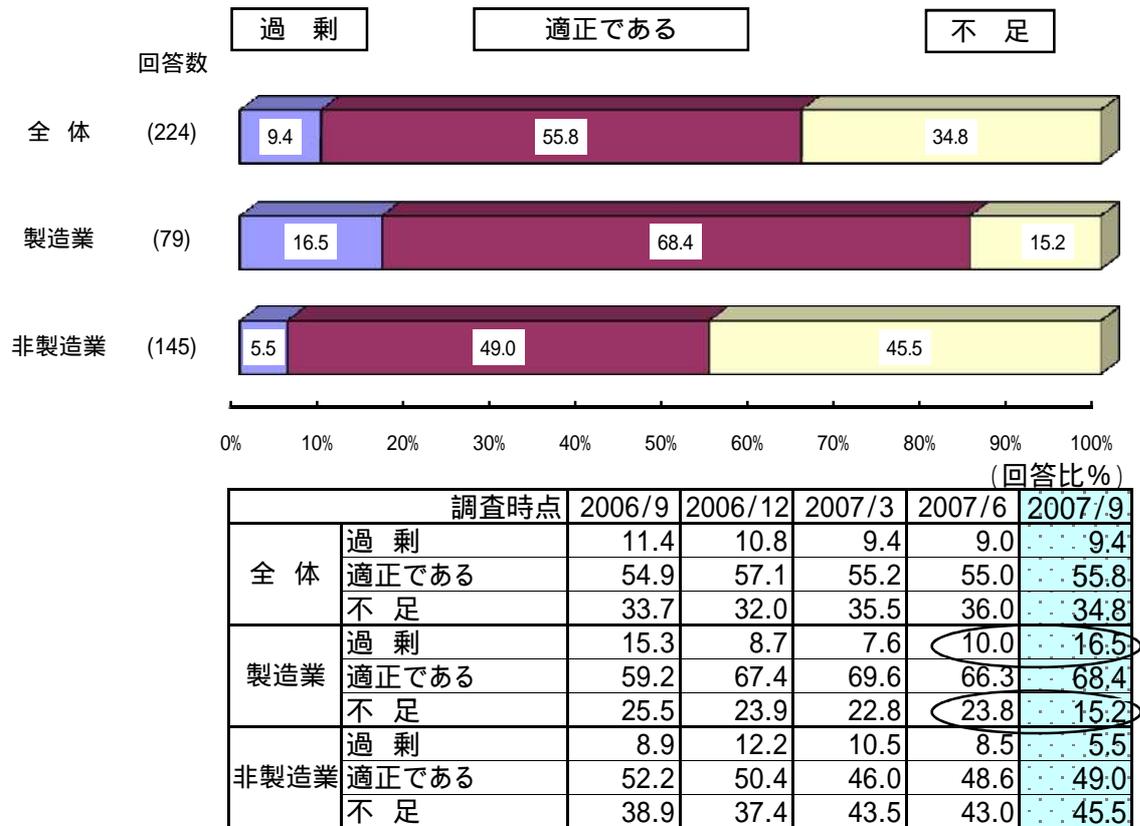
図表10

	変更項目 (回答比%)					
	能力増強投資	新規事業投資	合理化・省力化投資	環境対策投資	維持・補修・更新等の投資	その他
増額						
製造業(回答数60人)	68.3	26.7	30.0	16.7	38.3	1.7
非製造業(回答数111人)	52.3	31.5	26.1	11.7	45.0	7.2
減額						
製造業(回答数22人)	40.9	18.2	13.6	0.0	27.3	9.1
非製造業(回答数41人)	34.1	24.4	19.5	0.0	48.8	0.0

3. 貴社の雇用の状況についてお伺いします。現状の雇用人員をどのようにお考えでしょうか。

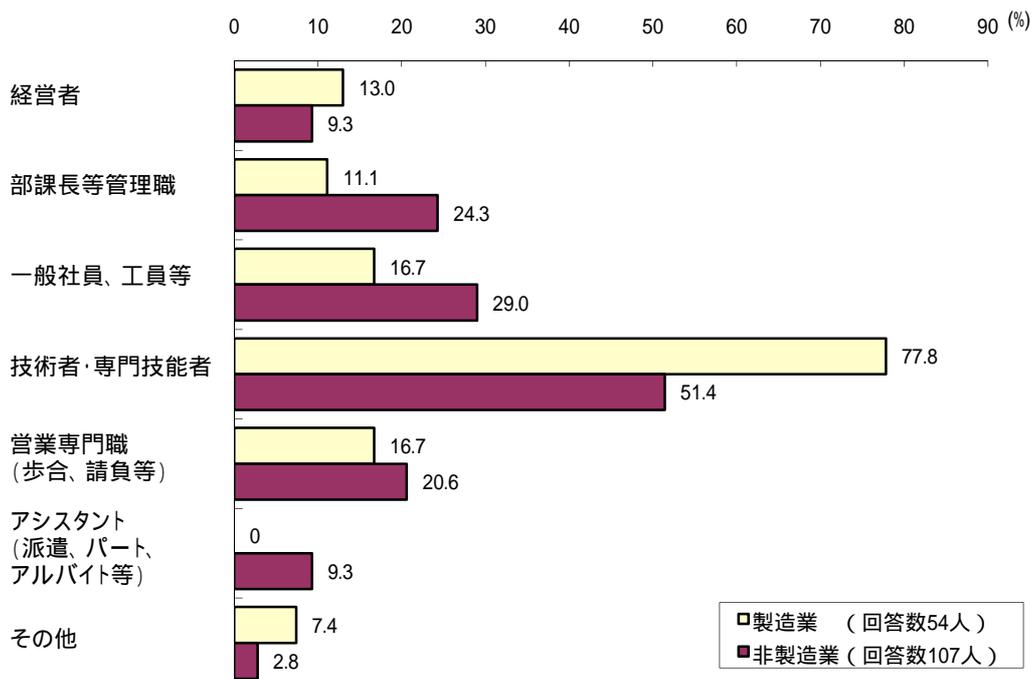
(1) 全体として、雇用人員は

図表11



(2) 不足している雇用人員は(2つまで)

図表12



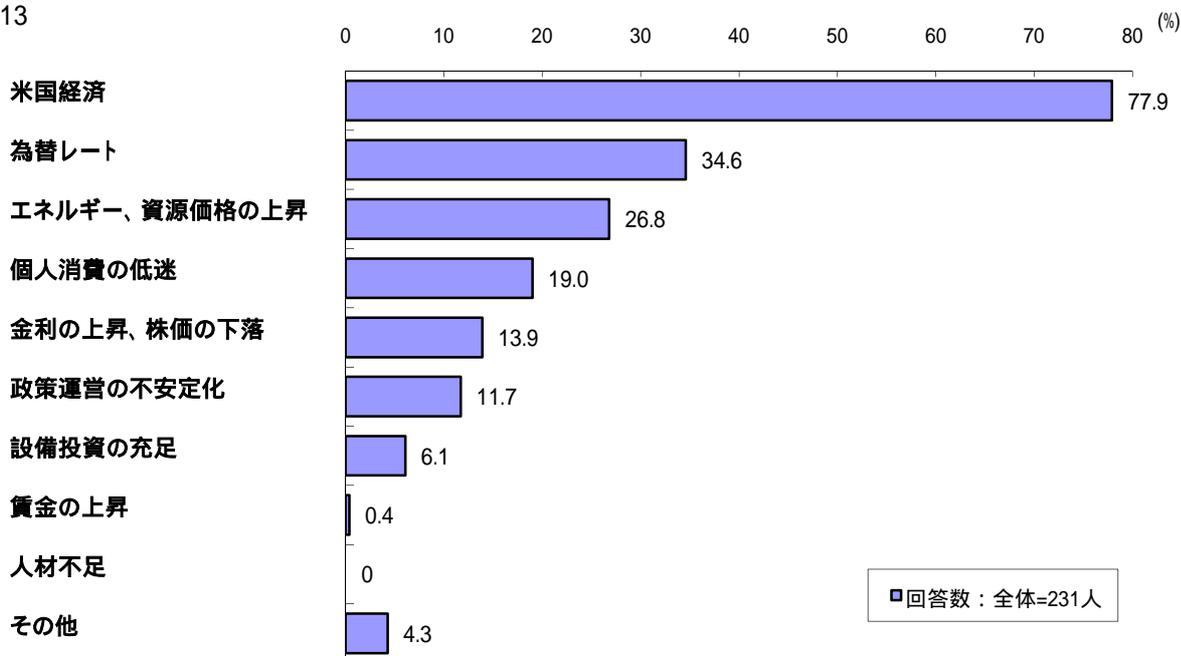
トピックス

1. 経済見通しについて伺います。

8月13日に公表された2007年4 - 6月期の実質GDP成長率は前期比0.1%（1 - 3月期は同0.8%）と、三四半期ぶりに潜在成長率を下回りましたが、前年同期比で見れば2.3%（1 - 3月期は同2.5%）と、日本経済は引き続き緩やかに拡大を続けているとみられます。

(1) 今回の景気拡大局面が終息する主なリスク要因は何だと思えますか（2つまで）。

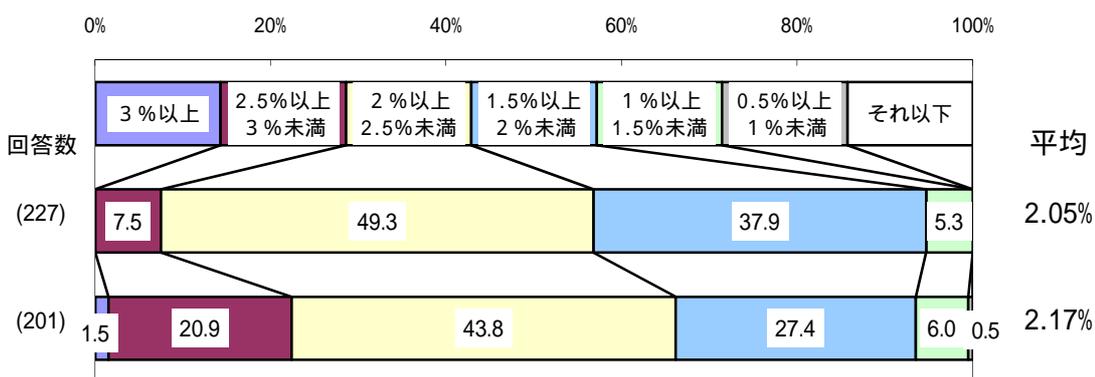
図表13



(2) サブプライムローン問題をきっかけに、信用リスクに対する評価が修正されつつありますが、米国の実質GDP成長率は、2007年、08年それぞれどの程度で推移するとお考えですか。

なお、今回の株価下落・為替レート変動前の市場予測平均（Blue Chip Economic Indicators：7月10日付）は2007年2.1%、08年2.9%でした。

図表14



注) 平均値は、各区間の中央値（3%以上は3.25%、それ以下は0.25%と仮定）を加重平均して算出

米サブプライムローン問題によるマーケットの混乱から、8月22日までの1ヵ月で、円ドルレートは約6%円高に、日経平均株価は約12%下落しました。このような中、今後の日本経済についてはどのようにお考えですか。

(3) 2007年度、08年度の実質GDP成長率は、それぞれ何%程度になるとお考えですか。

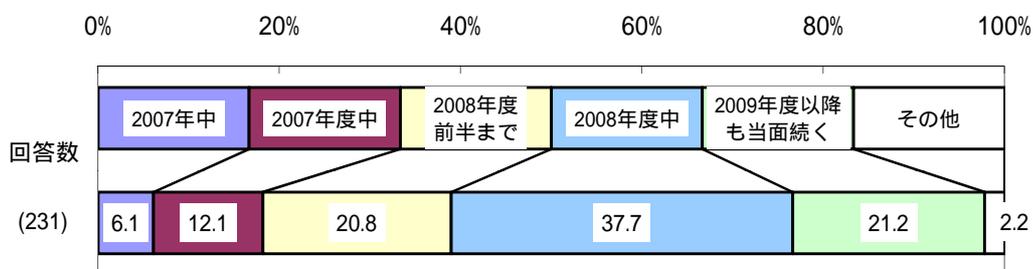
図表15

カッコ内は6月調査時の値

	2007年度	2008年度
回答数	227	226
平均値	2.04% (2.07%)	2.01% (1.96%)
中央値	2.0% (2.0%)	2.0% (2.0%)

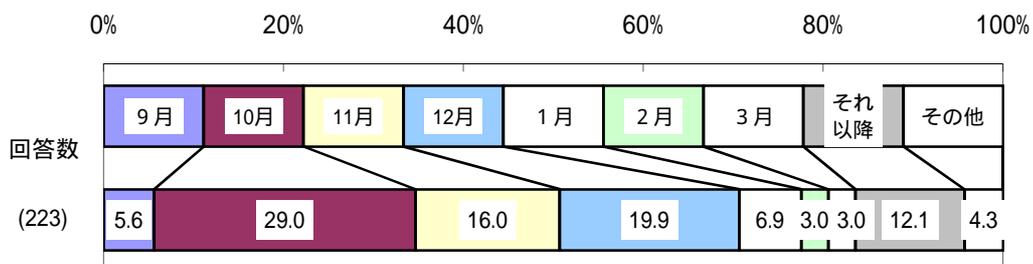
(4) 昨年11月に「いざなぎ超え」を果たした日本経済ですが、この景気拡大局面はいつまで続くとお考えですか。

図表16



(5) 今回の日本銀行・金融政策決定会合では、利上げが見送られました。次の利上げは、行われるとすればいつとお考えですか。

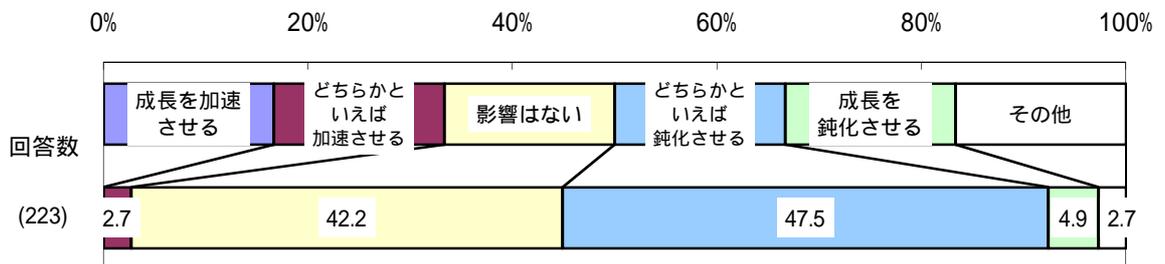
図表17



5. 7月29日に投開票の行われた第21回参议院議員選挙の結果、自民党が大敗を喫し、与党が過半数を大きく割り込む結果になりました。

(1) 今回の選挙結果は、日本の経済成長にどのような影響を与えると思われますか。

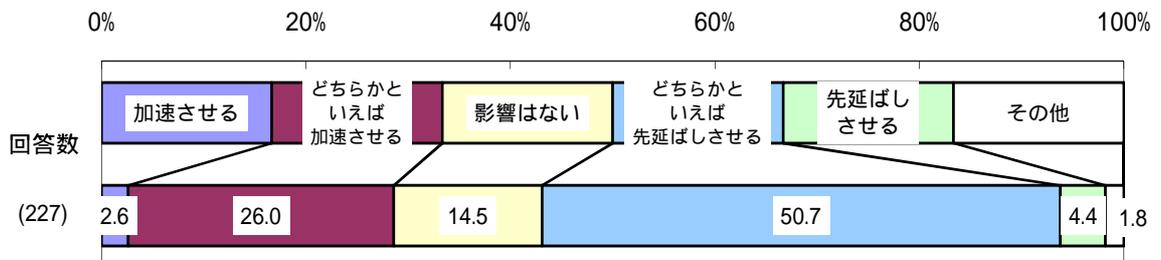
図表18



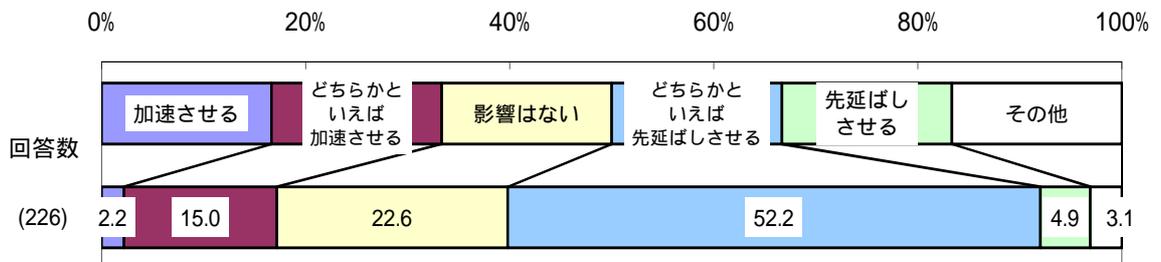
(2) 今回の選挙結果は、以下の政策課題に関する議論にどのような影響を与えると思われますか。

図表19

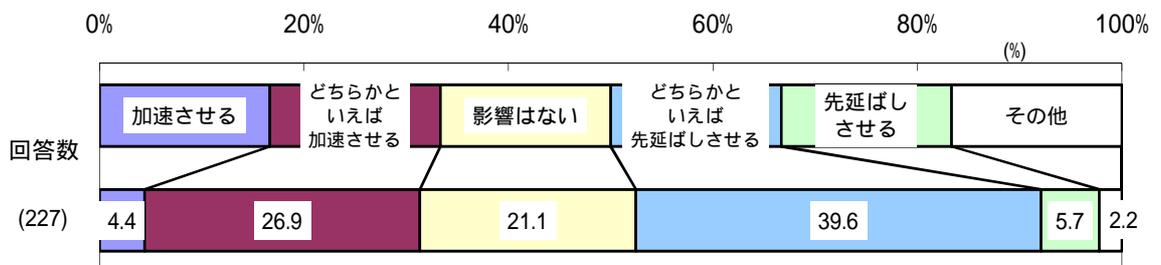
イ) 歳出削減



ロ) 規制改革

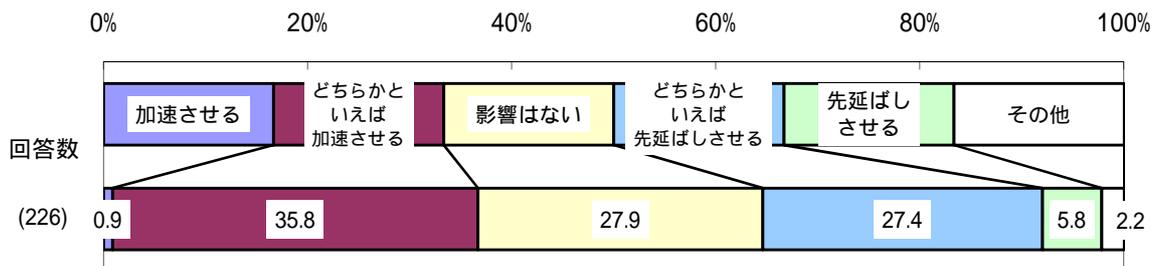


ハ) 公務員制度改革

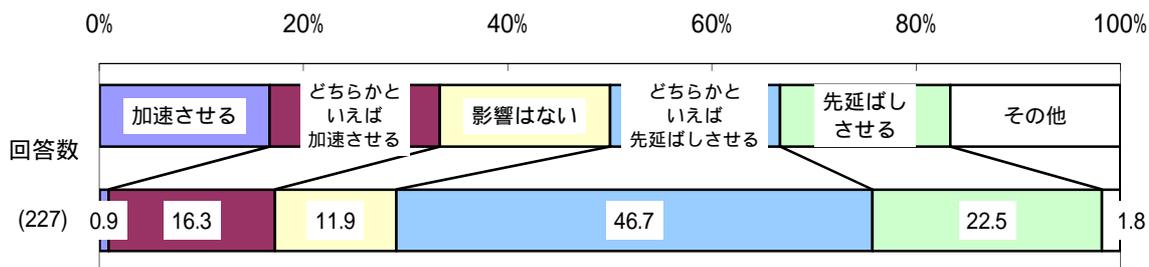


図表20

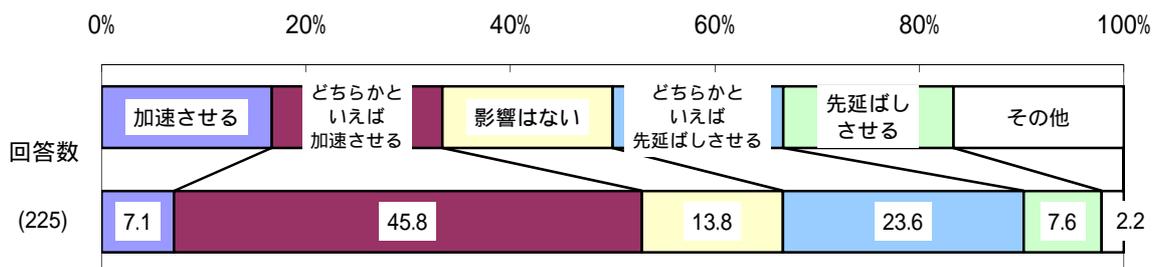
二) 地方分権



ホ) 税制改革

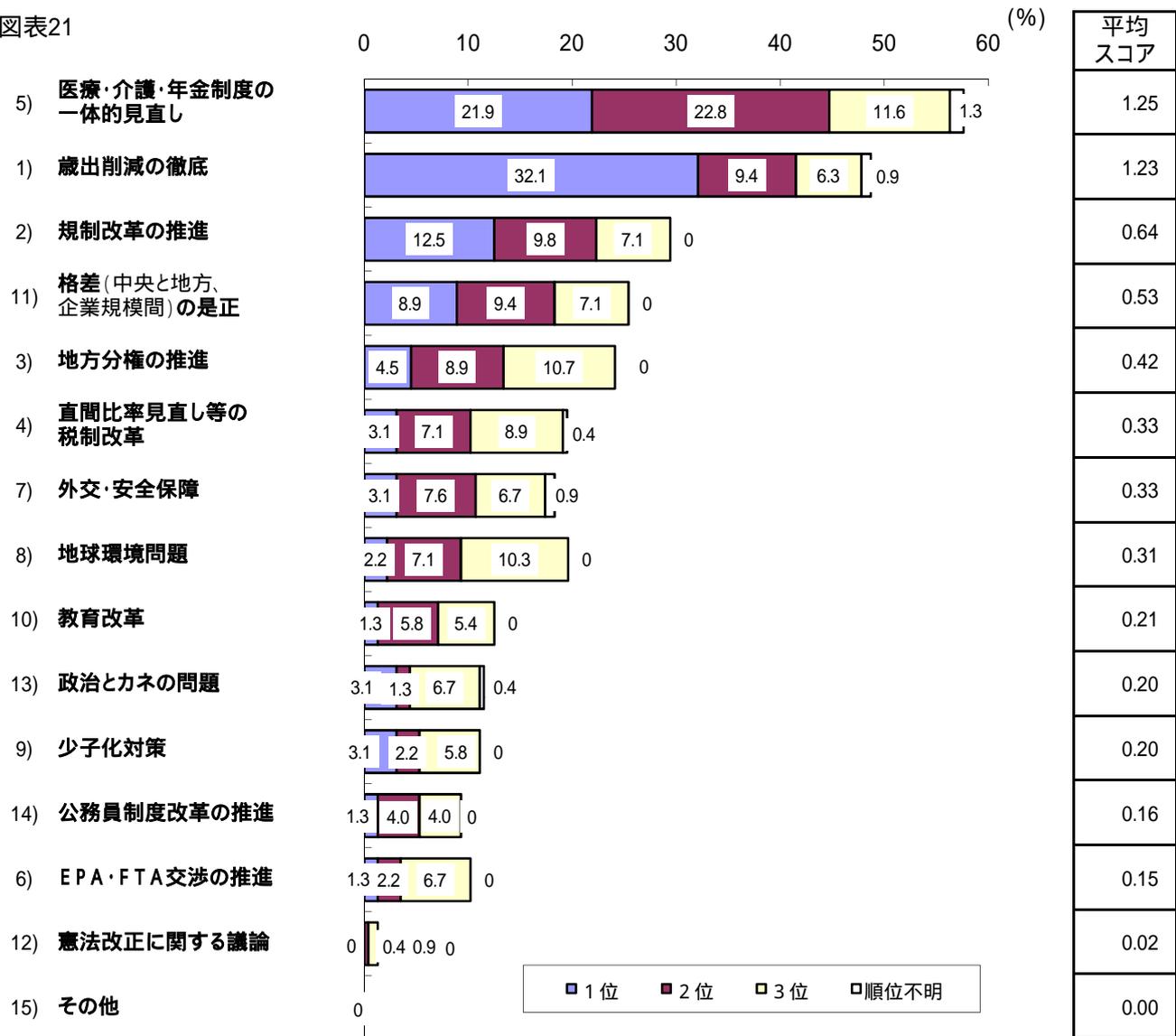


へ) 社会保障制度の見直し



(3) 選挙結果を踏まえ、政治が今後優先して取り組むべき課題は何だと思われますか。
重要と思われるものから順に3つお選び下さい。

図表21

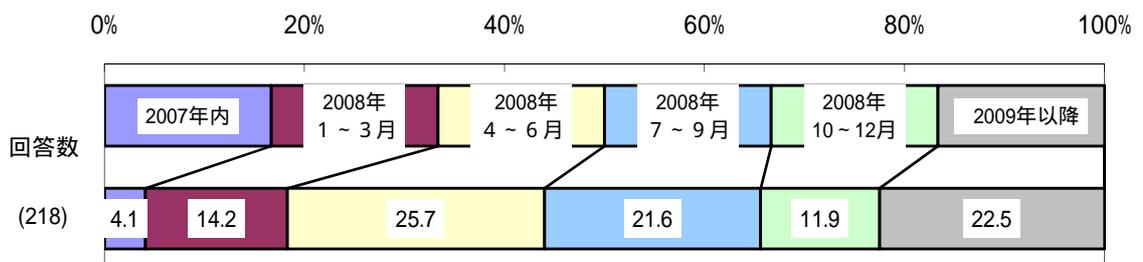


回答数: 全体=231人

注) 平均スコアは、1位:3点、2位:2点、3位:1点、順位をつけていない回答は2点、4位以下:0点として算出

(4) 次の衆議院議員選挙はいつ頃になると思われますか。なお、任期満了は2009年9月です。

図表22



- 回答者業種分類 -

製造業	79人
食品	9
繊維・紙	7
化学製品	16
鉄鋼・金属製品	6
機械・精密機器	10
電気機器	19
輸送用機器	2
その他製品・製造	10
非製造業	152人
建設	13
商業	24
銀行	19
その他金融	11
証券	5
保険	8
不動産	7
運輸・倉庫	17
情報・通信	15
電力・ガス	5
サービス(コンサルティング、研究所)	8
サービス(法律・会計・教育・医療など)	3
サービス(ホテル業、エンターテインメント)	4
サービス(広告)	2
サービス(その他)	8
その他	3
回答者総数	231人

- 回答者ブロック別分類 -

(社)経済同友会	173人
各地経済同友会代表幹事計	58人
北海道・東北	9
関東	8
中部・北陸	5
近畿	7
中国・四国	14
九州・沖縄	15
回答者総数	231人